

鶴城中だより

文責
校長 船津 巧
No.22

一度きりの宿題

辛い時こそ もうひと頑張り 幸せになれ 卒業おめでとう

三年生の修了式で、校長としての最初で最後の宿題を出した。この宿題は、必ず報告しなければならぬ。できませんでしたという言い訳を許さない宿題である。パワハラと言われるような宿題である。

宿題の身と条件は
①「幸せになれ」
②直接報告に来い
③遅いほど良い
というものである。

この報告を天国と

巣立ちゆく君へ

明日は、いよいよ卒業式です。正確には卒業証書授与式といえます。

17名の生徒に一人一人卒業証書を手渡します。世界でたった一枚、あなただけの卒業証書です。一番最初に書かれていた番号は、昭和23年3月に第一回の卒業生であった岡山さんからずっとつながってきた番号です。これまで六〇九〇人の卒業生がいます。その先輩方

卒業証書

平成十五年三月十日

〇〇〇〇

中学校の全課程を修了したことを証する

平成二十年三月二十日
山鹿市立鶴城中学校校長 船津 巧

年功序列でいけば、当然、私や楠田先生、大塚先生が先に天国に行くであろう。早く生まれたいから順番通りに死んでいくことが、本当に幸せなことかもしれない。だからこそ、その順番を違えてはいけない。

つまり、この宿題の提出は、遅ければ遅い方がいい。私たちより先に天国に行くことはあつてはならない。私

いう漢字になる。辛い時こそもうひと頑張りすることによって幸せになるのである。

人生劇場の脚本家兼監督はその人自身である。たくさんの人や物、文化や自然など身の回りのすべてが舞台を良くするキャストに違いない。今できること、今しかできないこと、あなたにしかできないことをやることで、芸術と呼ばれる舞台が出来上がる。前向きな練習と努力を重ね、誰にも真似できない舞台(幸せの舞台)を創りあげ、私たちが待つ場所に報告に来て欲しいものだ。

が築いてこられた伝統があります。あなたも、この一人として番号と伝統をつないだのです。

次に、あなたの名前が書いてあります。その名前を中学校の三年間で、何度呼ばれたでしょうか。明日、担任の先生が一人一人名前を読み上げられます。鶴城中中学校生徒として名前を呼ばれるのも、きつと明日が最後です。担任の先生は、心を込め、あなたの名前を読み上げられることでしょう。

誕生日が書いてあります。あなたは、この日に生まれ、今日まで生きてきました。いろんなことがあ

僕の後ろに道はない

僕の前には道はない
僕の後ろに道はできる

高村光太郎の「道程」という詩の一部です。

人の一生にはたくさん困難が待ち受けています。その壁に跳ね返されても、何度も挑戦することで、少しずつ壁にひびも入ることでしょう。その努力がエネルギーになることでしょう。

発明王のエジソンは、日夜何千回もの実験を繰り返したといわれています。いくらやっても思ったような成果が得られず、周りの人から「この実験は失敗ですね。」と言われても、エジソンは、「このやり方では駄目ということがわかったのだから実験は成功だ。」と言ったそうです。

一方、松下電器の創設者である松下幸之助さんは「自分には失敗はない。失敗したところでやめてしまわず、成功するまで続けたからだ。」と話されたそうです。

「もうだめだ」「自分には能力がない」と思えばそれで終わり。いつの間にか

最後の授業は

「長洲剛の乾杯」という歌詞を使って大塚先生が最後の授業をしました。

この詩を使って、大塚先生はたくさんのメッセージを卒業生に届けました。涙する生徒の前に、最高の授業ができた……。

